

この息切れって心不全？

循環器内科 講師 北田 修一
きただ しゅういち



『ちょっとしたことで息切れするね、年かな』

こんな会話を耳にすることはありますか？ それは高齢者心不全の始まりかも知れません。我が国の心不全患者数は増加し、高齢化とともに高齢者心不全が増えています。日本人の死因第二位は循環器疾患、第三位は老衰で、いずれも循環器疾患の終末像である心不全が含まれ、心不全は我々の生死に関わる重要な問題といえます。

左室駆出率の保たれた心不全/HFpEF(ヘフペフ)

加齢とともに心臓のしなやかさが失われ(左室拡張障害)、少し頑張ると心臓の中の圧力(左室充満圧)が急上昇し、呼吸の仕事量が多くなる高齢者心不全(HFpEF(ヘフペフ))の初期症状が疑われます。確かに年のせいかもしれません。運動能力は心臓の働きだけでは決まらず、骨格筋の筋肉量や血管の拡張性、呼吸機能なども重要な決定因子になり、年とともに体力が低下したのかも知れません。



体力低下か心不全か？

そんな判断ができるの？と疑問を感じられるかもしれませんし、大学病院に相談するとつらい検査が待っているのではと不安になられると思います。名古屋市立大学病院では、運動負荷心エコー検査で息切れを診せて頂きます。寝たままこげる自転車がついた特別なベッドに横になって、出来る範囲で大丈夫ですので自転車をこいで頂きます。エコー技師さんに加え、専門医がそばについて安全に検査が行えているか監視しています。(しっかり応援いたします)いつもの息切れがみられたら、その時の心臓をしっかり心エコーで検査して、体力低下か心不全かの判断を行います。検査は着替えも含めて30分程度です。



高齢者心不全の治療薬登場

これまで高齢者心不全には予後を改善させる有用な治療薬が見つからず、何度も入院を繰り返し、最後には寝たきりになってしまう現実を突きつけられてきました。しかし、最近では予後改善効果が示された薬が登場しました。治療できる息切れがあることを皆様にお知らせしたいと思っています。

検査の詳細は、「息切れ外来」でお話いたします。検査を受けるかどうかは説明を聞いた後で結構です。心不全かどうか判断が難しいのが高齢者心不全ですので、息切れで困っておられるようなことがあれば、遠慮無く『息切れ外来希望』(月曜初診/北田外来)とお声かけ下さい。体力の問題か心不全か考えさせて頂き治療をご提案させて頂きます。



名古屋市立大学病院群 地域医療連携講演会を開催します

本年度はリハビリテーション病院が新たに加わり、6病院合同での開催となります。ぜひご予定ください。

※詳細・お申し込み方法につきましては、期日が近づきましたら改めてご案内いたします。



名古屋市立大学病院



東部医療センター



西部医療センター

名古屋市立大学病院群 6病院合同 地域医療連携講演会

2025年11月22日(土) 15:30-18:00 (予定)

名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟3階大ホール

参加費無料
事前申込制

日本医師会
生涯教育制度
単位取得



みどり市民病院



みらい光生病院



リハビリテーション病院

桜山地域医療連携勉強会のご案内

以下の勉強会を準備しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

回	対面セミナー開催日時	演題・講師	申し込み
第1回	2025年6月26日(木) 19:30～20:30	演題:肺癌・縦隔腫瘍に対する最新治療 講師:呼吸器外科 教授 奥田 勝裕	受付中 (動画視聴)
第2回	2025年8月28日(木) 19:30～20:30	演題:呼吸器内科の最前線:診療技術と治療法の進化 講師:呼吸器・アレルギー内科 講師 上村 剛大、講師 田尻 智子、 准教授 大久保 仁嗣、助教 森 佑太 ※講演順	受付中
第3回	2025年9月25日(木) 19:30～20:30	演題:一目で診断!直感的思考が勝負の外来疾患 講師:総合診療科・総合内科 教授 宮崎 景	受付中
第4回 (予定)	2025年10月23日(木) 19:30～20:30	演題:胆道・膵疾患治療のup-to-date 講師:肝・膵臓内科 講師 吉田 道弘、助教 加藤 晃久	
第5回 (予定)	2026年2月26日(木) 19:30～20:30	演題:小児科にて講演予定 講師:小児科 講師 青山 幸平	

● 受付中の勉強会の詳細につきましては、勉強会HPをご覧ください。

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/for-medical/benkyokai/>

